

問

代表・一般質問を平成20年6月10日、11日、12日に開会した第2回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する10名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

「子ども・環境・治安」施策に全力投球!?

視界良好 未来の足立!!



自由民主党

吉岡 茂 議員

環境サミットin足立に対する区長の意気込みを伺う

【問】「環境サミットin足立」では、先進自治体の首長と意見交換することになっているが、選定の視点とサミットにかける区長の意気込みを伺う。

【区長】多治見市は、平成10年に環境庁から「循環型社会モデル都市」の指定を受けている。宇部市は、「宇部方式」を確立する等、CO₂削減に向けた取り組みを行っている。選定の視点は、その先進性と、両市長の持つ強いリーダーシップである。

私は、「地球にやさしいひとのまち足立」を実現し、次代に誇れる環境と、それを支える仕組みを残したいと考えている。温暖化防止区民会議を組織する意義は何か

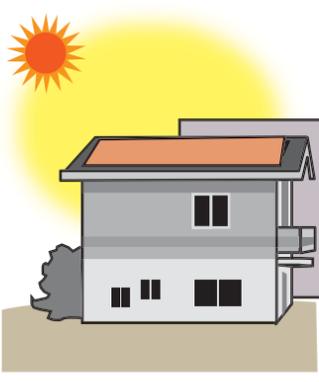
【問】「環境サミットin足立」で発表する宣言を受け止め、区民運動につなげていくため、温暖化防止区民会議を組織すると聞くが、その意義等は何か。

【環境】第二次環境基本計画では、「足立区温暖化防止区民会議」と称し、3万人の参加を見込んでいる。同会議の中で、CO₂の削減目標を設定し、実行した内容・成果を総会で報告していただく等、実効性の高い取り組みを行っていく予定である。

減目標を設定し、実行した内容・成果を総会で報告していただく等、実効性の高い取り組みを行っていく予定である。

太陽光発電システムの普及見込みはどうか

【問】今年度予算に太陽光発電システムの設置費補助金の大幅な拡充を盛り込んだが、事業の進捗状況と普及見込みはどうか。



【環境】補助金は、住宅用を1キロワット2万円から7万円、上限金額を20万円から30万円に増額したため、今年度の申請件数は昨年同時期に比べ5割増となっている。今年度未だに設置数は、平成15年度からの累計で400件に迫ると見込んでいる。温暖化に伴う異常気象等への対策はどうなっているのか

【問】IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告では、温暖化対策には限界があり、異常気象等への対応策を講ずることが重要と指摘している。海面上昇対策を行う国もあると聞くが、区の対策はどうか。

【危機管理】国や都では、洪水を防ぐためにスーパー堤防化や堤防補強工事を行っている。また、区では、荒川の水がふれることを想定し、国のモデル地区指定を受け、国土交通省・都・気象庁と、避難勧告の判断等のマニュアルづくりに着手し、区民の安全・安心を確保している。

【教育長】小一プロブレム等への効果的な対応が必要であり、幼保小の連携を充実するとともに、引き続き積極的に都に働きかけていく。

【問】本年3月、「おいしい給食推進委員会」を設置し検討を進めていると聞くが、進捗状況及び今後の予定はどうか。



【教育長】都に教員の増員分の人件費を区で負担することまで提案したが了解を得られない。近々、都教育長が代わるので、改めて強く働きかけていく。

【学校教育】先日、第3回目の委員会が開催された。10月には「おいしい給食」イベントを開催する予定である。

モデル校は、小学校4校、中学校2校を指定した。委員会の提案を実践するとともに、現場の知恵を生かしたモデル校独自の工夫や取り組みを行っていく。

【問】「ワンチャリ・ツーロック」作戦は、かなり区民に浸透してきていると思われるが、犯罪発生件数への影響はどうか。

【危機管理】本年1月から4月

末までの自転車盗の件数は958件で、昨年同期比117件の減少となっている。

【問】ワンチャリ・ツーロック作戦の狙いを、区民にどのように伝えていくのか。

また、作戦の意味を理解してもらおう工夫も必要と思うが、どのように考えているのか。

【危機管理】錠を2個つけることが自転車盗の予防策であることとを説明し錠を渡すことで、作戦の狙いを周知している。

さらに、集客施設でのポスター等によるPRや、区ホームページでの自転車盗の発生件数の推移を掲載する等、区民の理解を

【問】日暮里・舎人ライナーの西新井大師西駅ができたが、駅から西新井大師への参道がわかりにくいので整備すべきではないか。

【問】西新井大師参拝者には高齢者も多い。土・休日や緑日・年末年始だけでも、コミュニ

深めていく。補助258号線綾瀬川架橋の進捗状況はどうか

【問】補助258号線綾瀬川架橋の早急な着手が必要であるが、進捗状況はどうか。

また、事業を進めていく上での課題と、その対処方法を伺う。

【土木】現在、橋梁の詳細設計を行い、河川管理者等と協議中である。用地確保については、六町側は取得済みで、加平側は今年度取得予定である。

課題として、六町側は、都が土地区画整理事業を施行中で、橋梁の通行は歩行者と自転車に限られる暫定整備となる。

また、河川管理者との協議の中で、大規模な護岸復旧工事が求められている。

西新井周辺のまちづくりについて 子どもの体力低下問題について



自由民主党

金田 正 議員

西新井大師までの参道の整備が必要である

【問】日暮里・舎人ライナーの西新井大師西駅ができたが、駅から西新井大師への参道がわかりにくいので整備すべきではないか。

【都市整備】道路等の整備にはユニバーサルデザインにより来訪者や地域住民に安全、快適か

つ地域景観に沿った歴史と文化を活かした施設としていく必要がある。街路樹の樹種の変更や特色ある道づくりに向け、地域の声を反映し計画していく。

西新井大師西駅・西新井大師間のコミュニティバスの運行を

【問】西新井大師参拝者には高齢者も多い。土・休日や緑日・年末年始だけでも、コミュニ